

上田さんの学級では、生活の中で気になっていることについて調べ、友達にほうくくすることになりました。次は、上田さんが地いきの安全について調べて書いてある【ほうくくする文章】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ほうくくする文章】

わたしは、おのうえ町に住んでいます。おのうえ町では、大きな事Aや事けんが起きていないけど、わたしは、それがどうしてなのか分かりません。そこで、町の人にインタビューをして調べてみると、けい察官のほかに、地いきの人が活動していることが分かりました。地いきの人の活動について、分かったことを三つしようかします。

一つ目は、登下校の見守りです。おのうえ町に住んでいる山田さんは、つうがくろの横だん歩道に、毎日立ってくださいています。せまい道から広い道に出るところです。そこは、小学生と自転車Bがぶつかりそうになったのです。山田さんは、「広い道を通る人には、出てくる人が見えにくいので、目立つように旗イを持ち、注意をよびかけています。」とおっしゃいました。

二つ目は、かんばんのせつ置です。校区内のきけんな場所には、「あぶない注意」と書かれた子どもすがたをしたかんばんが立っています。かんばんを立てる場所は、地いきの人とほご者、先生が実さいに歩いてみて、注意が必要と感じた場所です。「地いきの子どもは、地いきのみんなウで守る」を合言葉に、月に一回、きけんなところはなにか見まわりウをしているそうです。

三つ目は、花の名所となつている交差点横の花だん作りです。ここは、交通量が多く、高速道路にも近いので大きなトラックも通ります。ですから、長年エきけんだと言われてきたそうです。そこで、老人会のみなさんが、ここをきれいで安全な場所エにしたいと思ひ、交差点横に協エ力して花だんを作つたそうです。毎日必ず、花の手入れをしながら、安全な場所になるように守つてくださっています。

わたしたちが、安全にエすごせるのは、地いきの人のおかげだと思ひます。なぜなら、

C

今回調べて分かつたことを多くの友達に伝え、地いきのことを知つてもらひ、もつと好きになつてもらひたいです。

二 上田さんは、自分が書いた【ほうこくする文章】を読み返しています。次の(1)から(4)の問いに答えましょう。

(1) 分かりやすく伝えるために、——線部Aの文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には、「しかし」を使います。書き直した一文目の終わりの**四文字**を①に、二文目の「しかし」に続く**四文字**を②に書きましょう。

おのうえ町では、大きな事こや事けんが起きていないけど、わたしは、それがどうしてなのか分かりません。

①

--	--	--	--

※かい答は、かい答用紙に書きましょう。

②

--	--	--	--

(2) ——線部Bの部分を読み返し、……のところを書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、正しく書き直しましょう。

【書き直す前】

そこは、小学生と自転車がぶつかりそうになったのです。

【書き直したあと】

そこは、小学生と自転車が)。

※かい答は、かい答用紙に書きましょう。

(3) 読み返すと、学習した漢字が、ひらがなになっていることに気づき、書き直すことにしました。

——線部アとウのひらがなを、漢字でいいねいに書きましよう。

(4) 三・四年生にも読んでもらうために、漢字に読みがなを書くことにしました。

——線部イとエの漢字の読みがなをひらがなで書きましよう。

三 北川さんは、上田さんが書いた【ほうこくする文章】を読んで、次のような感想を伝えようと思います。【ほうこくする文章】に対する感想としてふさわしくないものを次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 内容のまとまりないようごとに段落だんらくを分けて書いているから、分かりやすいよ。
- 2 「かん板」の写真があると、みんなにも分かりやすいと思うよ。
- 3 「一つ目は」「二つ目は」「三つ目は」の言葉は、省いたほうが分かりやすいと思うよ。
- 4 聞いたことや思ったこと、考えたことなどが分かるように書き方をくふうしているね。